

【記入例】

東京実業企業年金基金 脱退一時金裁定請求書

① (フリガナ) 氏 名	トウジツ タロウ 東実 太郎 ㊞		② 性別 男 女	③ 生年月日 昭和 50 年 10 月 1 日 平成
④ 加入者番号	1 2 3		⑤ 喪失年月日	事業所名 1 退職(喪失日: 令和 5 年 10 月 1 日) 2 在職(喪失日: 令和 年 月 日)
⑥ (フリガナ) 住 所	トウキョウトチュウオウクヒガシニホンバシ 東京都中央区東日本橋 3-10-4 電話番号 (03 - 5695 - 3511)		郵便番号 (103 - 0004)	
⑦ 脱退一時金の請求方法	1 全額一時金で受け取る 2 一部選択一時金で受け取る 一時金の選択割合 25% 50% 75% 3 全額繰下げする ※⑧⑨のご記入、添付書類のご提出は不要です		繰下げ終了予定日 1 老齢給付の支給要件を満たすまで (60歳) 2 令和 年 月 日 (歳) まで	
⑧ 支払機関	金融機関コード	支店コード	金融機関の証明	
	とうじつ 銀行 信金 信組・農協	東日本橋 支店	印	
	口座種類 普通 当座	口座番号	2 3 4 5 5	
⑨ 当基金以外からの退職手当(金)受給の有無(一時金を請求する場合)	有	受 給 先	1 事業所(会社)からの退職金 2 確定給付企業年金の一時金 3 その他 () 無	
⑩ ⑦で「1」又は「2」の一時金を選択した場合の添付書類	1 加入者証 2 個人番号(マイナンバー)の記載のある住民票(請求時前3カ月以内に発行されたもの) 3 退職所得の受給に関する申告書・退職所得申告書 4 他の退職手当の支払いを受けたことが有る場合は、その退職所得の源泉徴収票 ※脱退一時金が一時所得となる場合は3、4は不要です			

「1」は、退職日の翌日を記入してください。

「2」は、非常勤等となって厚生年金から抜けた日を記入してください。

「2」を選択した場合、選択割合を指定してください。

「2」又は「3」を選択した場合、繰下げ終了予定日の「1」又は「2」を指定してください。

請求者(加入者)が振込を指定する口座番号について金融機関より証明印をうけてください。(証明に替えて、口座番号等を確認できる通帳の写しを添付することもできます。)

請求者(加入者)名義の口座を指定してください。
金融機関コード、支店コードは記入不要です。

⑦で「1」又は「2」の一時金を選択した場合は記入してください。

- ・「⑤喪失年月日」欄において、2に該当される方は、所得税法基本通達30-2(引き続き勤務する者に支払われる給与で退職手当等とするもの)に該当する脱退一時金以外は、一時所得となります。
- ・「⑦脱退一時金の請求方法」欄において、すでに脱退一時金の一部を受け取られた場合は「1 全額一時金で受け取る」を選択してください。